



地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源“あぐれっしゅ”

Agresh 11 2024 月号 No.176



特集 感謝!合併15年記念 JA収穫祭・秋の農業まつり
多くの来場者でにぎわう

《JA収穫祭2024 ゲスト 中村 美律子さん》

令和6年11月13日発行 発行/十和田おいらせ農業協同組合
〒024-0081 青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829
編集/JA十和田おいらせ広報編集委員会 公式ホームページ <https://www.jatowada-o.or.jp>
E-mail/soumu@jatowada-o.or.jp 印刷/アート印刷

頭の体操 クロスワードパズル

出題/ニコリ

二重マスの文字を A~E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1	5	9		14	18	
	6			15		B
2			12		19	21
		10		16		
3	7		13		20	
	8	11		17		D
4		A				

正解者プレゼント
応募者の中から
抽選で10名の方に
QUOカード
1,000円分

応募方法
下記必要事項をご記入のうえ、
郵便またはFAX、ホームページから
ご応募ください

- クイズの答え
- 郵便番号・住所・電話番号
- お名前(フリガナ)・年齢・性別
- ご意見・ご感想をお寄せください

応募締切: 2024.11月30日(土) (当日消印有効)

【郵便ハガキ】
〒034-0081
青森県十和田市西十三番町4-28
JA十和田おいらせ 企画広報課

【FAX】
0176-24-1829
おかけ間違いにご注意ください

【ホームページ】あぐれっしゅリンクページ
<https://www.jatowada-o.or.jp/>

※頂いた個人情報、このたびの用途以外には一切使用しません。

先月号答え ABCD
ホシガキ
応募総数: 81通

カ	ン	シ	ヤ	キ	14	16	イ
ラ		ナ	ワ	ノ	レ	ン	
2	ス	イ	ガ	ラ		15	イ
		7	キ	キ		13	ハ
3	ホ	ウ		11	チ	ヨ	ウ
	1	ツ	ク	シ	マ		ン
5	ク	シ		12	ヤ	キ	イ
							モ

お便り紹介

ご愛読ありがとうございます
読者の声をお届けします

十和田市 61歳 女性
ゴボウが大好きです。先日か
だあ〜れに行つてゴボウを見て
いたら「奥さん、今朝俺が掘つて
きたのだから美味しいよ」とい
うので、「じゃあ〜と買いました。
本当においしかったです。また
会えるといいな。」

東北町 61歳 女性
ハガキの値上がりで大変ですね。
でもがんばって毎月応募しますよ!
ご応募ありがとうございます!
毎月のお便りを楽しみにしてい
ます。クイズはハガキの他に、
ホームページからも簡単に応募
できます。パソコンやスマホが
ある方はぜひご利用ください。

東京都世田谷区 63歳 男性
母の介護のため、東京都と十和
田市を往復しています。皆さまの
頑張りやAgreshで読み確認す
ることを楽しみにしております。
ご愛読ありがとうございます。懐
かしい息子さんを持ち、お母様は幸
せですね。遠い距離の移動や介護
は大変だと思いますが、お体に気
を付けてお過ごしください。

十和田市 64歳 男性
JA収穫祭楽しんでました
きました。新米「まっしぐら」も
GETできたし、屋台でおいし
いものも食べて、ステーションも楽
しかったです。中村美律子さん
の歌謡ショーも楽しく盛り上が
ることができました。

十和田市 79歳 女性
出店全部の品々を購入巡り
し、満足の日でした。

十和田市 61歳 女性
雨の予報にも関わらず、たく
さんの人でびっくりました。
皆さんお疲れさまでした。

JA収穫祭、秋の農業まつり、か
だあ〜れ周年祭にお越しいた
さありがとうございます。皆
さまに楽しんでいただいて安堵
しています。今後も農業や食の
大切さ、魅力を発信していきま
すので、ご理解とご協力をお願
いいたします。

十和田市 48歳 女性
広報誌に載っていたダイコン
料理を作ってみました。子ども
がおいしいとおかわりしてくれ
ました。次回も料理レシピ楽し
みにしています。

子どもの食事は「楽しむ」ことが
重要です。おいしく食べて、食べ
る喜びを感じ、大きく成長してほ
しいです。これからもたくさんの
レシピを紹介していきます。

編集後記

仕事から帰ると、たまに泊まりにきている姪が「おしごと おつかれさま」とニコリお出迎えをしてくれ
ます。「今日は疲れたな」「上手いかなかったな」と思う時でも、その一言で心はほっこり。どこで覚えたん
だろう?と考えてみると、私の母が毎日「お疲れさま」と声を掛けてくれていることを思い出しました。
まだ5歳の姪が周りを見て、聞いて、良いことだと実践していることにも驚きましたが、毎日変わらずに
声を掛け続けてくれる母の一言に日々支えられているのだと胸が熱くなりました。たった一言で人を幸せ
にしたり、喜ばせたり、悲しませたり。言葉の持つ力に気づいたとともに、日常に埋もれている優しさを見
落としてはいけないなと感じた出来事でした。(谷)

JAの概況 令和6年11月1日現在
正組員数/6,059人
准組員数/5,337人
役員数/26人
職員数(准職・嘱託含)/244人
貯金高/877億5,198万円
貸出高/179億5,641万円



華麗な舞を披露した六日町鶏舞保存会

会場を盛り上げた女性部のステージ

難易度の高いジャグリングパフォーマンス(アットさん)

じゃんけん大会で「あもり十和田湖和牛」や任天堂SwitchをGET!

キレキレのダンスで会場を魅了(SUMLOOP)

特集 **感謝！合併15年記念 JA 収穫祭開催**
1万人の来場者でにぎわう



ビックゲスト中村美律子さんの歌声に釘付け

農家組合員や地域住民らとふれあい、出来秋に感謝するJA収穫祭を10月19日(土)・20日(日)の両日、JA本店で5年ぶりに連日開催しました。『出来秋をみんなでEnjoy』のスローガンのもと、JAの青年部や女性部、役職員、子会社社員ら総勢300人のスタッフが来場者をおもてなし。今年は合併15年記念と銘打ち、豪華な歌謡ステージや農畜産物の販売も品数をそろえるなど会場を盛り上げ、2日間で1万人の方にご来場いただきました。



小川女性部長、坂本青年部長の開会宣言でスタート

- 組合長賞
 とまと 瀬川 博文 (七戸)
 になにく 立崎 洋史 (大深内)
 ながいも 中野 雄一郎 (大深内)
 玄米 外山 康仁 (十和田湖)
 ねぎ 母良田 俊徳 (三本木)
- 青森県知事賞
 になにく 立崎 洋史 (大深内)
- 十和田市長賞
 になにく 立崎 洋史 (大深内)
- ながいも 中野 雄一郎 (大深内)
- 青森県農業共済組合長賞
 玄米 外山 康仁 (十和田湖)
- 全農あもり賞
 とまと 瀬川 博文 (七戸)
 ピーマン 立崎 和男 (大深内)
 ねぎ 母良田 俊徳 (三本木)

— 敬称略 —



表紙「松ぼっくり」

松は針葉樹で、日本では縁起の良い木として知られています。縁起の由来は、厳しい大地に根を張り、冬でも枯れずに青々と緑を保つことから。花言葉には「不老長寿」「永遠の若さ」「向上心」「勇敢」「慈悲」などがあるようです。

JA十和田おいらせは今年で合併15年。松のように、どのような厳しい状況にあっても、強く根を張り、常に向上心をもって皆さまに愛される組織となるよう今後も進んでまいります。



管内の笑顔を収穫
畑でみっけ

未来に残したい農風景やおいしい顔、農業仲間とのひと時など、「食」と「農」に関する写真をお寄せください♪

- ①お名前(ペンネーム可) ②写真のタイトル
 - ③撮影時の様子 ④撮影場所
- 上記と合わせてメールでお送りください

E-mail kikaku@jatowada-o.or.jp
大募集!!



▲秋空に映える紅葉(おいらせ町いちよう公園)



▲稲刈り日和(七戸支店管内・P9参照)



▲いっぱい獲れたぞー!!(P9参照)

目次 — 霜月

楽しむ管内の笑顔を収穫畑でみっけ 2

特集 感謝！合併15年記念 JA 収穫祭・秋の農業まつり 多くの来客者で賑わう 3

ニュース Photo News レシビ にんにくレシビコンテスト 入賞者レシビ紹介 7

活動紹介 モノエビイキキ活動 11

お知らせ 情報掲示板 12

話題 つなげよう！農福の輪 14

お知らせ かなあ〜れ情報 15

楽しむみんなの広場 16

Agresh 11 2024 月号 No.176





畠山組合長と高谷参事が公開生放送ラジオ「麻生しおりの土曜はキュン」に出演



かっこいいでしょ!将来の夢は農家かな?

自慢のブランド肉
「奥入瀬ガーリックポーク」の串焼き

暖かい馬肉鍋どうぞ



麻生しおりさんのサイン会



野菜の詰め放題は大人気



新鮮野菜お買い得!



具沢山やきそばおいしいよー!

【第2回 にんにくレシピコンテスト】 テーマ「青森県産にんにくでパワー飯」

生産量トップクラスを誇る管内のニンニクを全国に広め、生産者を応援するために開催。県内外から18点の応募をいただきました。応募いただいたレシピ通りに調理して、にんにく専門部会役員が見た目や味、アイデア性などから審査しました。※最優秀賞のレシピはP10で紹介しています。

最優秀賞

『ほっこりニンニクの炊き込みご飯』

飯豊 敦子(十和田市)

優秀賞

- 『にんにくソースかけデコハンバーグ』
- 『俺のとりネギにんにく』
- 『ニンニク&ナガイモのチーズinポテサラ焼き』
- 『にんにく香るトマトシフォンケーキ』
- 『にんにく納豆のペペロンチーノ』

- 澤谷 則子(横浜町)
- 水尻 大貴(十和田市)
- 小守 穂野花(三本木農業恵拓高校)
- さんうえみらい(十和田市)
- 湯澤 菜津実(茨城県)

—敬称略—



美しい野菜がずらり(農林産物花き共励会)



農林産物花き共励会などの受賞者

まつりは小川真利子女性部長と坂本啓悟青年部長の開会宣言でスタート。フリーアナウンサーの上明戸華恵さんと松竹芸能のピン芸人斗澤やすあきさんが司会を務めました。

1日目はあいにくの雨でしたが、歌手・麻生しおりさんの公開生放送ラジオや歌謡ショー、白菊保育園児のステージなどを一目見ようと、朝早くからたくさんの方が来場。会場では、新米やとれたて野菜などを買い求める人、JA女性部・青年部が出店する食の屋台を堪能しようとする人で長蛇の列ができていました。

2日目は、スペシャルゲストとして演歌歌手の中村美律子さんが登場。会場を埋め尽くすほどの人が集まるなか、約1時間にわたり最新曲「人それぞれに」やヒット曲「河内おとこ節」「島田のブンブン」など迫力ある歌声を聴かせてくださいました。



牛乳でラッシー作り 上手にできるかな?



熱々ラーメンは温まる♪



2日間ステージを盛り上げた
上明戸華恵さんと斗澤やすあきさん



みんなで食べるとおいしいね



狙いをさだめて...(キッズコーナー・射的)

【第7回 農業に関する川柳コンクール】 テーマ「わたしと農業」

十和田市内の5~6年生を対象に募集し、4小学校から35点の応募をいただきました。

最優秀賞

『朝と夜 必ず食べる 親の米』

山端 雨(大深内小5年)

優秀賞

- 『努力と 幸せの粒 まっしぐら』 音道 岳(西小6年)
- 『大切な お米残さず 味わおう』 志田 翔子(西小6年)
- 『農業は みんなの体を 育てます』 白川 侑人(四和小6年)
- 『わたしたち 農業未来 つなげよう』 太田 拓実(四和小6年)
- 『まっしぐら 食べればパワー でてくるぞ』 赤坂 蓮(法奥小5年)
- 『田植えのお手伝い ぼくもお米も 成長するよ』 里村 昇信(法奥小6年)

—敬称略—



子どもにモテモテ!
JAバンクキャラクターよりぞう

10/15 ナガイモ生育順調

野菜振興会ながいも専門部会は、大深内支店構内でナガイモの最終坪掘り調査をしました。作柄は長さ・太さとも良好で、10アール当たりの収量は平年並みの2,850キロ、A・B品率は52%となりました。JAは傷を付けないよう丁寧な収穫を呼び掛け、豪雨や猛暑で収量の確保に苦戦してきた近年の巻き返しを図ります。

坪掘り調査は8月から毎月行ってきました。最終の今回は、管内28カ所のほ場から連続で5本ずつ掘り取り、ナガイモの全長や全重、品質など7項目を調査しました。

令和4年は豪雨や長雨によって腐敗が進み、ほ場によっては全滅するなど壊滅的な状況となりました。さらに令和5年は猛暑の影響で極端に細長い作柄となり、掘り取りや洗浄時の折れが品質低下につながるなど生産者は苦慮してきました。

杉山憲雄指導やさい部長は「栽培管理が難しくなっているが、高温・排水対策や肥培管理などの見直しで良品生産につなげてほしい。JAは販売要請や販促活動の継続・強化で有利販売を図る」と話しています。

管内の収穫は11月中旬から始まる予定です。



▲ナガイモの生育を調査するJA職員ら

10/25 鍋物シーズンに向けてゴボウの出荷本格化

JA管内でゴボウの出荷が本格化してきました。令和6年度産の作柄は、は種後の干ばつの影響で細め傾向ですが、食味は良好です。今後は、鍋物シーズンを迎えることから、JAでは高品質と良食味をアピールし、年間販売数量4,660トン、販売高7億円超えを目指します。

当地は全国トップクラスのゴボウ生産地。柔らかい歯ごたえと香りの高さが特徴で、市場から好評を得ています。JAでは冷蔵貯蔵施設を活用し、主に首都圏や中京圏の青果市場に出荷します。

出荷は12月上旬まで続く計画です。



▲出荷調整を行うJA従業員(七戸野菜センター)



華麗な歌と踊りで会場を魅了した「青森うぐいす姉妹」



ステージを盛り上げた地元園児

下田・ももいし支店合同「秋の農業まつり in 縄文の森イベントホール」



新鮮野菜の詰め放題・即売会には行列

おいらせ町の縄文の森イベントホールで10月26日、下田・ももいし支店合同「秋の農業まつり」を開きました。会場には、串もちや町特産のだるま芋を使った「へっちょこ汁」など食の屋台が並んだほか、ニンジンの詰め放題やダイコン、キャベツ、ネギ、新米「まっしぐら」などの即売会が大人気でした。

ステージショーでは、「青森うぐいす姉妹」による手踊りや民謡、「おいらせ HOT HEARTS CLUB BAND」、「本村郷土芸能保存会(鶏舞)」、「豊原パイオニアソーラン」のほか、町内4保育園・幼稚園の園児が踊りやカラーガードで会場を盛り上げました。



何のお菓子が当たるかな? (キッズコーナー)



地元野菜たっぷりの「へっちょこ汁」は不動の人気



本村郷土芸能保存会が力強い鶏舞を披露



県内外の農産物が並びミミセリを楽しんだ来場者



新米「まっしぐら」が大人気